

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)						
ET451016	技術科指導法演習(Seminar in Teaching Method of industrial arts)					教科実践						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
選択	2	1	大学院教育学 研究科	後期		氏名 中原久志 E-mail nakaharah@oita-u.ac.jp 内線 7590						
授業の概要	技術科の学習内容と教材・教具との関係を理解する。また、生徒の発達段階や、レディネスに応じた学習効果を考慮したうえで教材開発を行い、マイクロティーチングを通して実践する。技術科指導法特論などにおける学習成果を基礎として、学校教育における技術科教育の指導に関する事項について実地調査等を通じて考察する。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1 2 3 4 5 6 7 8 9 10						
目標1	技術科における教材・教具の意義・目的を理解する											
目標2	教材開発及びマイクロティーチングを通して、実践的授業力を身につける											
目標3	附属学校及び公立学校における実地調査を通じて、学校現場の抱える課題及び改善点について考察する											
目標4												
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1	技術科における教材・教具の位置付け											
2	学習指導要領における教材・教具の位置付け											
3	「興味・関心・意欲」を促す教材・教具の捉え方と指導法の考え方											
4	「工夫・創造」を促す教材・教具の捉え方と指導法の考え方											
5	「技能」を促す教材・教具の捉え方と指導法の考え方											
6	「知識・理解」を促す教材・教具の捉え方と指導法の考え方											
7	教材・教具開発の視点と生徒の認知的反応											
8	題材・製作題材の条件と指導の実際											
9	教材・教具の開発と技術評価活用力											
10	附属学校における技術科の授業の見学及び担当教員とのディスカッション											
11	附属学校における授業内容と指導法、教材・教具に関する課題と改善方法の提案											
12	公立学校における技術科の授業の見学及び担当教員とのディスカッション											
13	公立学校における授業内容と指導法、教材・教具に関する課題と改善方法の提案											
14	マイクロティーチングとディスカッション											
15	学習目標及び学習評価に準拠した教材の客観的評価											
ラーニング	A:知識の定着・確認	ディスカッション, 評価				工夫 その他						
	B:意見の表現・交換											
	C:応用志向											
	D:知識の活用・創造											
時間外学習の内容と時間の目安	準備 学修	・学校教育における技術教育及び技術科教育の内容や指導法、授業実践をより理解するため、講義で提示する論文や研究資料を熟読しておくこと										
	事後 学修	・実際の教育現場における指導方法について、附属学校や公立学校における授業を見学（及び に相当）し、その理論や改善点を考察する										
教科書	中学校学習指導要領解説技術・家庭編 新技術科教育総論（日本産業技術教育学会技術教育分科会編）											
参考書	講義中に参考となる論文や資料を紹介する											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	実地調査における指導方法の提案及び評価を含めたディスカッション	40%										
	開発した教材・教具及び指導案	30%										
	マイクロティーチング及び相互評価	30%										
注意事項	特になし											
備考	特になし											
リンク	URL											